

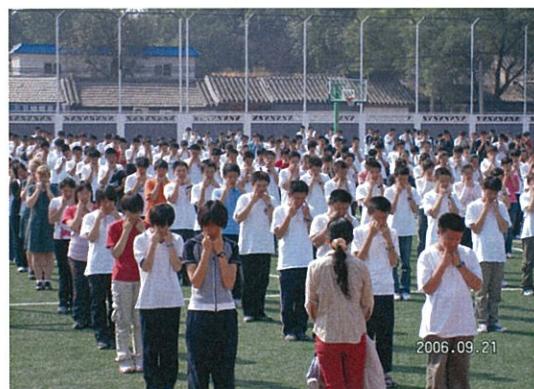
公益財団法人 日本中国国際教育交流協会



協会の紹介

公益財団法人日本中国国際教育交流協会は1991年、故田中一郎元日本教職員組合中央執行委員長が教育交流を通して日本と中国の友好を増進するために日本・中国教育交流協会として設立されました。1992年に財団法人の認可を受けました。翌年に日中国交20周年記念して、中国全土の優秀教師126名が訪日し、全国の教職員との教育交流を実現しました。この間、財団訪中団が16回、536名、中国からは22団体407名が訪日しています。このほかにも、中国宋慶齡基金との共同プロジェクトによる河北省易県学校施設支援や音楽教師養成セミナー、韓国安東自由大学への積極的な参加、国際教育活動への支援、中国日本語学習者および中国留学生への奨学援助など多岐にわたる教育交流、支援事業を行っています。

2010年8月5日、内閣総理大臣より「公益法人」移行の認定を受け、『公益財団法人日本中国国際教育交流協会』となりました。



教育交流は4つの分野で

◆ 派遣

教育に関心のある人たちによって構成された協会が派遣する訪中団で学校見学、授業の交流、子どもや教職員との交流を行い、未来のアジアを地球規模で考えます。

◆ 受入

諸外国から教育関係の訪日団を受け入れ、学校訪問等を行い、教職員や子どもたちとの交流を深めています。訪日団の希望に沿って、教育現場の協力を得た研修への参加ができます。

◆ 支援

教育困難地域の学校に机や椅子などの学校備品のほか、電子キーボードなどの教育機器を送っています。また送った機器を使って授業がすすめられるための研修を支援しています。支援を受け入れる団体は、行政または信頼のおける団体です。

◆ 研究助成

田中一郎奨学基金を設立し、東アジアを中心に国際的な教育交流を行う人材を育成します。また「日本語作文コンクール」「教育交流ホームステイ」などを通して、海外や日本で日本語を勉強している若者の学生を助成しています。

東アジアでのこの素敵な教育交流への 参加をお持ちしています♪

個人会員 年会費 一口 5,000円

団体会員 年会費 一口 10,000円

会員、寄付をされた団体・個人には、協会の年会報、「共生力」(臨時発行の会報)。海外派遣への先行連絡、イベントのご案内など差し上げます。

協会の歩み

公益財団法人認定 2010年8月5日（設立 1991年1月）

創立者 田中 一郎（初代理事長）

代表理事 黒田 文男

業務執行理事 赤岡 直人

教育交流受入・派遣事業

訪日団

92 中国教職員訪日代表団（126名）

93 寧波市訪日団、常州市訪日団、寧夏自治区訪日団、

中国教育国際交流代表団（赤松文相と会談）

94 江蘇省小学校長訪日団

95 湖南省訪日団、蘇州市訪日団

96 モンゴル赤峰市職業教育代表団、常州市訪日団、卒業生就職指導訪日団

97 日中国交正常化25周年、財団設立5周年記念教育交流訪日団

98 蘇州市・昆山市訪日団、常州市訪日団

99 北京市第二実験小学校訪日団、中国優秀教師訪日団

2000 雲南教育学会訪日団

01 中国教育交流訪日団

02 中国特殊教育工作者代表団

03 北京市崇文区教育関係者訪日団

06 日本中国国際教育交流協会設立15周年記念訪日団、遼寧省体育訪日団

08 宋慶齡基金会教育代表団

09 宋慶齡基金会秘書長来日

11 協会設立20周年記念中国教育国際交流協会訪中団、中国宋慶齡基金会教育代表団

12 中国宋慶齡基金会唐聞生副主席、協会を訪問

13 第3次宋慶齡基金会教育交流代表団

訪中団・訪韓団

92 私立学校教職員訪中団（北京、大連）

第一次教育訪中団（北京、杭州。李鉄映国家教育委員会主任と会見）

93 第二次教育訪中団（北京、瀋陽、撫順、大連。倪全人代常務副委員長会見）

94 第三次訪中団（昆明、成都）

- 95 第四次教育訪中団（ウルムチ、トルファン）、協会理事訪中団
- 96 第五次教育訪中団（济南・青島、蘇州）
- 97 第六次教育訪中団
(日中国交正常化 25 周年、財団設立 5 周年記念北京、
天津、常州、蘇州。朱国家教育委員会主任と会見)
- 98 第七次教育訪中団（北京、ハルピン、長春）
- 99 第八次教育訪中団（南京、杭州、上海）
- 2000 第九次教育訪中団（昆明、大理、麗江）
- 01 第十次教育訪中団（西寧、西安）
- 02 第十一次教育訪中団（日中国交正常化 25 周年記念。南寧、桂林）
- 04 第十二次教育訪中団（北京、承德）
- 06 第十三次教育訪中団（北京・天津）
- 07 第一期安東自由大学教育学部参加団（韓国/安東市・ソウル）
- 08 第十四次教育訪中団（北京・河北省易県）
第二期安東自由大学教育学部参加団（韓国・安東市）
- 09 第三期安東自由大学教育学部参加団（韓国/安東市・ソウル）
河北省易県第 1 回音楽教師養成セミナー参加
- 10 第十五次教育訪中団（北京・河北省易県）
河北省易県第 2 回音楽教師養成セミナー参加
- 11 第五期安東自由大学参加団（韓国/安東・ソウル）
- 12 第六期安東自由大学参加団（韓国/安東/大邱・ソウル）
- 13 第七期安東自由大学参加団（韓国/安東・ソウル）
- 14 第十六次訪中団（上海・南京）

教育交流・支援、助成等の事業

- 95 中国人日本留学生に奨学奨励金制度を設ける
- 96 雲南省災害教育復興資金を贈る
- 97 協会設立 5 周年記念教育交流集会・レセプション
- 98 長江水害見舞金（100 万円）を中国教育国際交流協会を通じ、松花江水害見舞金。
- 99 韓国中学校教育協議会名誉会長嚴圭白博士と田中理事長会見。
- 01 中国教育国際交流協会 20 周年式典で、田中会長・理事長顧問に就任。
協会設立 10 周年記念教育交流集会・レセプション
- 02 日中国交正常化 30 周年記念教育交流集会・レセプション
- 06 協会設立 15 周年記念教育交流集会・レセプション

- 07 中国宋慶齡基金會との共同プロジェクト/河北省易県小中学校へ机椅子、
電子キーボードの教育支援。
「中国人の日本語作文コンクール」に教育賞（学生・社会人）を提供（以降毎年）
- 08 日本教育公務員弘済会本部奨励金該当
四川省大地震、ミャンマーサイクロン被災復興支援。
- 09 共同プロジェクト/河北省易県小中学校へ机椅子、電子キーボードの教育支援。
河北省易県第1回音楽教師養成セミナー支援。
第5回「中国人の日本語作文コンクール」を後援。
- 10 河北省易県第2回音楽教師養成セミナー支援。
公益財団法人日本中国国際教育交流協会に名称変更。
第6回「中国人の日本語作文コンクール」を後援。
- 11 河北省易県第3回音楽教師養成セミナー支援。
第7回「中国人の日本語作文コンクール」を後援。
フジ国際学院スピーチコンテスト協賛。

教育交流・支援、助成等の事業

- 2011 東日本大震災「こども音楽再生基金」へ寄付。（100万円）
- 2012 協会代表以下4名が中国宋慶齡基金會、中国教育国際協会、
中国教育科学文化衛生体育工会を訪問。
河北省易県第4回音楽教師養成セミナー支援。
第1回教育交流ホームステイ（in 山梨）実施。
第8回「中国人の日本語作文コンクール」を後援。
フジ国際学院スピーチコンテスト協賛。
- 2013 河北省易県第5回音楽教師養成セミナー支援。
第2回教育交流ホームステイ（in 山梨）実施。
第9回「中国人の日本語作文コンクール」を後援。
- 2014 協会代表以下3名が中国宋慶齡基金會、中国教科文衛體工會全國委員會を訪問。
河北省易県第5回音楽教師養成セミナー支援。
第3回教育交流ホームステイ（in 山梨）実施。
第10回「中国人の日本語作文コンクール」を後援。

所在地

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内 2-32-16
甲府丸の内マンション 302
公益財団法人 日本中国国際教育交流協会
Tel:055-269-6533 Fax:055-269-6534
Email:ajciee@rhythm.ocn.ne.jp